

ついに入り口の工事が終わり、新しいいけざわこどもクリニックの看板が出来ました。たくさんの方に「素敵になりましたね」と声をかけて頂き嬉しいかぎりです！雨が続き、鬱陶しく暑い日が続きます。マスク生活で熱中症のリスクが高まるとも言われていますので、状況よっての判断が必要となります。水分補給しながらマスクの夏を乗りきりましょう！院長 池澤滋

感染症情報 5/25~6/28	前回	今回
アデノウイルス	3	2
溶連菌感染症	6	9
感染性胃腸炎	17	25
水痘(水ぼうそう)	4	0
手足口病	6	11
RSウイルス	0	0
突発性発疹	18	27
りんご病	0	0
EBウイルス	0	0
ヒトメタニューモ	0	0
インフルエンザA	2	0
インフルエンザB	0	0
おたふく風邪	0	2
カンピロバクター	0	1

4コマまんが
作・絵
ちえこ&みきこ

実話「チョコレート」



住所：合志市野々島 2461
(ユーパレス弁天 北側)
TEL：096-242-6633
診療時間：9：00～／14：00～18：00
休診日：木曜・土曜午後・日曜祝
URL：http://www.ikezawaorg/

手話であいさつ

開業して間もない頃、耳の不自由なご家族が外来受診に来られた。

身振り手振りでなんとか話し、伝わらないことは筆談でどうにか受診を終え、その帰り際「お大事に～」といつものように声をかけたが、その家族が振り向かない。当たり前だ。当たり前なのだが納得できない。「お大事に」が言えないなんて…

それが17年前ワタシが手話を学ぼうと思ったきっかけだった。ちょうどその頃、合志市の広報誌に手話サークル(パームズ)の情報が掲載されており、私は当時幼稚園の我が子連れて水曜の夜8時から手話サークルに通った。

手話サークルでは実際にろう者の方も指導者として参加され、私達の間違った手の動きを優しく直してくれた。パームズは手話を学ぶだけでなく、黒石夏祭りでは舞台上で「世界に一つだけの花」や西合志音頭を手話で披露したり、また西合志東小学校へ出向き生徒に手話指導などの活動をしていた。

徐々にクリニックが忙しくなり、子ども達もお稽古ごとの時間が増え、次第に私達は手話サークルから足が遠ざかってしまった。しかし、今年、このコロナ禍で、耳の不自由な方達が不自由な思いをしているとニュースで知った。

ろう者の方たちは、表情や口の動きで情報を得るが、コロナで皆がマスクをつけるようになると口の動きはモチロン、表情も分かりづらい。テレビで最近、テロップと共に小窓から手話通訳士が出ているのはそういうワケだ。私は以前から「職員全員が手話を覚えてくれたらいいな」。たった一言でもいいからろう者の方に挨拶ができれば「そう思っていたがいよいよその時がきたのだ！

そんなわけで私達は4月から朝礼に手話を用いて行っている！！「おはようございます」「こんにちは」「はじめまして」「おまたせしました」

「お大事になさませ」
たった5つの挨拶だが毎日やることでようやく全員身についてきた！！

そして先日、その成果を披露する機会が突然やってきた！久しぶりに来院したそのろう者の方は受付、看護師、会計とあちらこちらで飛び出すごこない手話に大変驚かれ、最後に職員の手話が上手だと目をキラッとさせた。その目の輝きの為だけに取り組んできたんだ、と思えるほど感激した。通じ合うことがこんなにも人の心を暖かくするなんて。

この取り組みを知り合いに話すと、自分の弟がろう者だ。嬉しい！と喜んで下さった。耳の不自由な方だけでなく、その方を取り巻く家族の方も共感して下さる。これからも手話が上達するようスタッフ全員で練習を重ねていきたいと思ひます！

文責 池澤千恵子

